



AQU 先端テクノロジー総研 《ニュースリリース》 2022/4/27

- プラズマ産業応用拡大へ！ 衛生管理、生活、環境で可能性広がる
- 低温プラズマ技術応用ビジネス、アプリケーション開発に期待！
- 先端ビジネス調査報告書、発刊 AQU 先端テクノロジー総研

<https://www.aqu.com/plasma-business/>

<https://www.aqu.com/aqu-news/2022-4-27.pdf> ニュースリリース

<https://www.aqu.com/>



【ニュース要約】

- プラズマ産業応用拡大へ！ 衛生管理、生活、環境で可能性広がる
- 低温プラズマ技術応用ビジネス、アプリケーション開発に期待！
- 先端ビジネス調査報告書、発刊 AQU 先端テクノロジー総研

先端テクノロジーの調査会社である株式会社 AQU 先端テクノロジー総研(所在地: 千葉市)は、低温プラズマ応用産業の可能性と需要探索、市場展望に関する調査報告書を発刊しました。

<https://www.aqu.com/aqu-news/2022-4-27.pdf>

<https://www.aqu.com/plasma-business/>

近年のプラズマ技術の進化はめざましいものがあります。大気圧下における常温、そして低温や零下、液中など、様々な条件下で放電することが可能となってきました。従来の高温プラズマに対して、今、低温プラズマが注目されています。

先端テクノロジーの市場調査会社、株式会社 AQU 先端テクノロジー総研(所在地:千葉市)はこのたび、『低温プラズマ応用産業の可能性と需要探索、市場展望に関する調査 -低温プラズマのアプリケーション開発、市場予測、ビジネス戦略-』をまとめました。

低温プラズマ処理装置システムに関する世界の市場規模は2022年見通し、19.5億ドル規模となっており、医療、農業、環境などの分野で利用拡大が進むことから、今後、年平均成長率15%内外の成長が続くと予測しています。市場は2030年には、60億ドル規模の市場に発展すると予測しています。現在、北米、欧州が成長市場となっていますが、日本を含めたアジア太平洋地域の市場も、加速してゆくとみえています。

この低温プラズマの技術はアプリケーションとしては、表面処理、殺菌、水処理、コーティング、除染、創傷治癒などがあり、産業用途としては電子機器、半導体、繊維、ポリマー、プラスチック、自動車、航空宇宙、食品などがあります。市場調査の結果、特に注目すべきは、今後、医療、農業、環境などにも大きく拡大してゆき、幅広い産業の未来を創造、社会を大きく変えてゆく可能性があるという点です。とくに、安心安全(衛生管理)、ライフ(暮らし)、グリーン(環境)などの分野においてイノベーションが起きてゆくと予想しています。

実際の需要度においては、会社員、公務員、経営者等、4,500人を対象に意識調査を実施したところ、プラズマ医療、プラズマ療法、プラズマ美顔器については、3人に1人の割合で、「使ってみたい」(利用してみたい)ということが分かりました。このほか、欲求度が高いものとして、プラズマウォーター、モバイルイオン発生機、オゾン発生機、プラズマ栄養水、プラズマカプセルベッドなどが挙げられています。

いっぽう、研究者たちも、低温プラズマ技術の役割は大きいと考えています。「ウイルスが炭素を主体とする有機物で構成されている点を考慮すると、低温プラズマは室温で基本的に全てのウイルスを不活性する、最強の技術(ウイルス滅のプラズマ刃)である、と言及しています。低温プラズマ装置は安価になりつつあり、容易にハンドリングすることができることから、将来は家庭から公共施設まで、あらゆる場所で低温プラズマ装置が整備され、普遍的に使われる技術へと発展していく可能性があると言及しています。今なお悩み多き人類の課題であるパンデミックは、低温プラズマを基軸とした科学技術によって、乗り越えてゆけるといっても過言ではありません。

世界は今、最先端のプラズマ機器と、プラズマニューアプリケーションを期待しています。日本企業こそ、その期待に応えられるのではないのでしょうか。

当調査報告書は、低温プラズマ関連の内外の技術動向、市場動向の調査をふまえ、応用製品サービスの需要動向、関連技術製品の市場動向、市場予測、さらに、ビジネス戦略構想についてまとめたものです。当調査報告書が皆様のビジネス開発、研究開発、製品サービス開発に少しでも寄与できれば幸いです。

■調査結果の一部より、「プラズマテクノロジーのビジネスビジョン」



【調査ポイントの一例】



■調査テーマ

低温プラズマ応用産業の可能性と需要探索、市場展望に関する調査 —低温プラズマのアプリケーション開発、市場予測、ビジネス戦略—

【調査研究報告書】

『低温プラズマ応用産業の可能性と需要探索、市場展望に関する調査
—低温プラズマのアプリケーション開発、市場予測、ビジネス戦略—』

<https://www.aqu.com/plasma-business/>

ISBN 978-4-904660-46-1

■調査スケジュール 2021年12月1日～2022年4月25日

■調査の実施

AQU 先端テクノロジー総研

低温プラズマ応用ビジネス市場調査プロジェクト

■調査趣旨

- ・ プラズマには粒子すべての温度が高い高温プラズマ(熱いプラズマ)と、電子温度のみが高い低温プラズマ(冷たいプラズマ)がある。高温プラズマは「エネルギーを作るプラズマ」として核融合やアーク放電(溶接、切断、溶射)などに使われる。
- ・ いっぽう、低温プラズマは「産業応用プラズマ」として半導体づくりのための微細加工、薄膜の合成、表面改質、殺菌などに使われている。近年、医療、農業などへの利用研究が進んできた。
- ・ 当調査報告書は、低温プラズマ関連の内外の技術動向、市場動向の調査をふまえ、応用製品サービスの需要動向、関連技術製品の市場動向、市場予測、さらに、ビジネス戦略構想についてまとめた。関係各位のビジネス開発、研究開発、製品サービス開発に寄与することを目的とする。

■最新調査報告書

『低温プラズマ応用産業の可能性と需要探索、市場展望に関する調査
—低温プラズマのアプリケーション開発と、市場予測、ビジネス戦略—』

<https://www.aqu.com/plasma-business/>

■関連調査報告書

『宇宙テクノロジー、量子メドベッドの可能性と市場展望に関する調査
—情報開示を契機に注目される最先端テクノロジーの未来戦略—』

<https://www.aqu.com/space-tech-medbed/>

※お問い合わせ連絡先

株式会社 AQU 先端テクノロジー総研

<https://www.aqu.com/>

〒260-0027

千葉市中央区新田町 36-15

千葉テックビル 6F

子安、那須

info@aqu.com

.....

※お問い合わせ連絡先

株式会社 AQU 先端テクノロジー総研

<https://www.aqu.com/>

〒260-0027 千葉市中央区新田町 36-15

千葉テックビル 6F

TEL 043-204-1258

FAX 043-204-1316

子安、那須

info@aqu.com